

# Aichi あいちの学童保育

県連協ニュース 2024-No. 2

2024年8月6日発行  
愛知学童保育連絡協議会

TEL : 052-872-1972 FAX : 052-308-3324  
Email : aichigakudou@gakudou.biz



## 第49回全国学童保育指導員学校 西日本三重会場を終えて



6月9日(日)10時~16時30分、第49回全国学童保育指導員学校・西日本三重会場が現地会場(三重県津市:アスト津プラザ)とZoomの併用で開催されました。

参加者の総数は539名、愛知からの参加者数は186名となりました。

全体講座は、大阪健康福祉短期大学の代田盛一郎さん講師にむかえ、「今、あらためて子どもの遊びについて考えるー遊びの“復権”と遊び世界の“再生”ー」をテーマに、子どもの成長において遊びの大切さについて深く知ることのできる講座となりました。

午後は、「指導員の専門性と職員間のチームワーク」、「子どもの発達を学ぶ」や「保護者に生活を伝え考えあう」など10の講座がおこなわれました。アンケート結果も好評で、有意義な研修となりました。

来年度は、6月上旬に愛知県内の会場での開催予定となっています。学童保育や子どもたちを取りまく環境は、日々変化していきます。最新の情報を学んだり、知見を広めながら、子どもたちの生活環境をゆたかにしていきますよう。

## こども家庭庁と懇談しました

6月24日(月)10時30分~11時30分、こども家庭庁成育局成育環境課と全国連協との懇談に参加しました。

この懇談は、「公的責任による学童保育制度の拡充と財政措置の大幅増額を求める要望書」をこども家庭庁に提出し、意見交換することで、政府・各省庁の次年度の予算編成に向けた概算要求が発表される(8月末頃)時期に間に合うよう、6月に実施しています。

今回の懇談の中心は、2024年度から新しく創設された「運営費における常勤職員配置の改善」の補助基準額の増額でした。これは、送迎支援事業や賃借料補助などのサイドメニュー的な補助金の増額ではなく、学童保育本体の運営費の大幅な増額であり、常勤職員を複数配置するという目的ですので、こども家庭庁が学童保育に力を入れていることがうかがわれます。Q&Aがいくつか発表され、疑問点や利用のしにくさも指摘されていますが、まずは「やってみることが大事」という課長の発言のように、学童保育に常勤職員を複数配置して、補助金を増額することが必要という認識は、こども家庭庁と全国連協で一致しているので、今後、各地域で、この補助金が展開され、保育の質が向上することが期待されています。

県連協役員 平岩

## 補助金コラム

教えて賀屋さん



今回のテーマは「放課後児童クラブ送迎支援事業」についてです。

2024年度から「A 待機児童が既に100人以上発生している市町村に所在する放課後児童健全育成事業所の場合(年額1,000,000円上限)」と「A以外の市町村に所在する放課後児童健全育成事業所の場合(年額536,000円上限)」の二段階になりました。

この補助金は、学校敷地外で学童保育を行っている場合に、子どもの安全・安心を確保するために、授業終了後の学校から学童保育への下校時もしくは、学童保育からの帰宅時に使えるものです。ただし、学童保育で雇用されている人もしくは他の国庫補助金をすでにもっている人へは使えません。タクシー会社と送迎の契約を結ぶ、学童保育に関心を持つ地域の大人と契約して子どもの送迎をしてもらった際に謝礼を支払う場合に使える補助金です。また、学童保育所有の車を使う場合は、燃料費に充てることができます。

(注:補助金を超えた場合は持ち出しになりますので、タクシー会社と契約を結ぶ場合には、「上限〇〇〇円で契約

を打ち切る」等の文言を入れた契約をする等契約書づくりの際に考えたうえで契約することが重要です)

(注：保護者から必要経費を徴収した場合は補助対象外になります)

### 豊橋教育奨励賞を豊橋市連協が受賞しました



豊橋市連協役員のみなさん

8月1日に豊橋市連協が豊橋市表彰にて、豊橋教育奨励賞を受賞しました。豊橋市連協が40年以上に渡り、豊橋の学童保育の運動を市と共に盛上げたということから表彰にいたったそうです。おめでとうございます。

教育奨励賞：社会教育部門

昭和53年に父母運営による民間学童保育の連携や活動の充実を目的に発足して依頼、学童保育の資質向上に向けた調査研究や支援員研修に取り組むほか、親子運動会の開催を通して親子や子ども同士の交流を深めるなど、放課後教育の推進に貢献されています。

### 第59回全国学童保育研究集会の参加申し込みが始まりました！

第59回全国学童保育研究集会の申し込みは始まっています！愛知学童保育連絡協議会のホームページに「[全国学童保育研究集会](#)」リンクがあります。

リーフレット、参加申込、WEB 申し込みの流れをわかりやすく掲載していますので、ぜひご活用ください。

久しぶりの現地開催もあります。オンラインでの参加も可能です。指導員さんが参加されることが多いですが、保護者向けの分科会も用意されています。保護者の方にもぜひご参加いただきたいです。

**参加申し込み 締め切りは10月9日(水)です。**

**お早めに参加申込をよろしく願います。**



申し込みは  
[こちらから](#)



分科会は  
[こちらから](#)  
お選びください

### 指導員会 ainapu からのお知らせ

今年度4月より愛知県連協の指導員会と名古屋市連協の指導員部会と一緒に活動を始めました。名前は「あいち・なごや指導員会 ainapu」です。保育の悩み事、運営のこ



と、助成金のことなどなんでも気軽に聞くことができます。指導員会では交流とあいち学童保育研究集会の分科会の運営を企画して活動しています。今年度の交流は、「あそびの交流」です。10月10日(木)9時30分より名古屋市の山里学童にて開催を予定しています。

学童保育指導員さんのあそびの引き出しを増やすために、交流しながらいろいろなゲームで遊んで、一緒に新しい発見をしてみませんか？

pdf版ではチラシ  
および二次元コードから  
クリックできます。



### ほいく誌コラム



#### まず『ほいく誌』の存在を知ってもらおう！

私とほいく誌の出会いは2011年4月号。全世帯購読している学童保育所に入所したことがきっかけでした。入所説明会の時から言われていたのでほいく誌の存在は知っていましたが、学童からのお便りと一緒に配られ、気付いたら手元にある…。そんな感じで、ほとんど読むことはなく積読(つんどく)状態。どうせみんなも読んでないよな～と思っていました。

そんなこんなで出会いから3年が経ち、当時の県連協役員さんからのお声掛けもあり2014年10月号のほいく誌に私の投稿が掲載されることになりました。このことを学童の人には言っていませんでしたが、私の投稿に気付いた保護者も意外にも多くいて、「ほいく誌に載ってたね！」と声を掛けられたり、保護者会で「載ってます！読んでみて！」と発言してもらえたりしました。その時、ちゃんと読んでくれている人がいるんだなあ、と知り(笑)、ほいく誌を通じてのつながりを実感しました。それからは、全部じゃなくていいのでぱらぱらとめくり、自分の目に留まる題名や知っている人はいないかな、といういい距離感で読むようになりました。毎号毎号すべて読むことはできなくても、たまにめくっては「あ～わかる」と共感してほっとしながら、私を支えてくれたことも多かったと思います。

現役保護者を卒業して8年目。昔を思い出しほろりしたり、つい気持ちが離れがちな現役世代の思いを感じたり、実は情勢学習のツールにもなる(日本で唯一の学童保育の専門誌なので!)ので、べらべらとめくって見えています。使い方(付き合い方?)も変わったけれど、ほいく誌の存在が学童保育と私をつなげてくれて、支えてくれると思う今日この頃。多くの皆さんにまずほいく誌の存在を知ってもらいたいと活動しています。

名古屋市 保護者 OB 三輪